

Nonoichi's Big News!



喜多家住宅が国の重要文化財に追加指定へ！



酒蔵の内部

「旧酒造施設」が追加指定
本町地区を通る旧北国街道沿いに建つ喜多家住宅は、幕末から酒造業を営んでいた旧家であり、主屋（おもや）および道具蔵（どうぐくら）は、昭和46年（1971年）に国の重要文化財に指定されています。

主屋北側に接続する旧酒造施設は、江戸時代の終わりから始まった酒造りの場の原型を今日まで良好な状態で残しています。その非常に高い歴史的価値から重要文化財に追加指定されることになりました。

名称	喜多家住宅（きたけじゅうたく）
種別	重要文化財建造物（昭和46年12月28日指定）
構成	<p>【既に指定されている場所】主屋（おもや）、道具蔵（どうぐくら）</p> <p>【追加で指定される場所】作業場（さぎょうば）、酒蔵（さかぐら）、前蔵（まえぐら）、貯蔵庫（ちょそうこ）、土地 附 麹室（こうじむろ）、精米所（せいまいじょ）、米置場（こめおきば）</p>

酒造施設

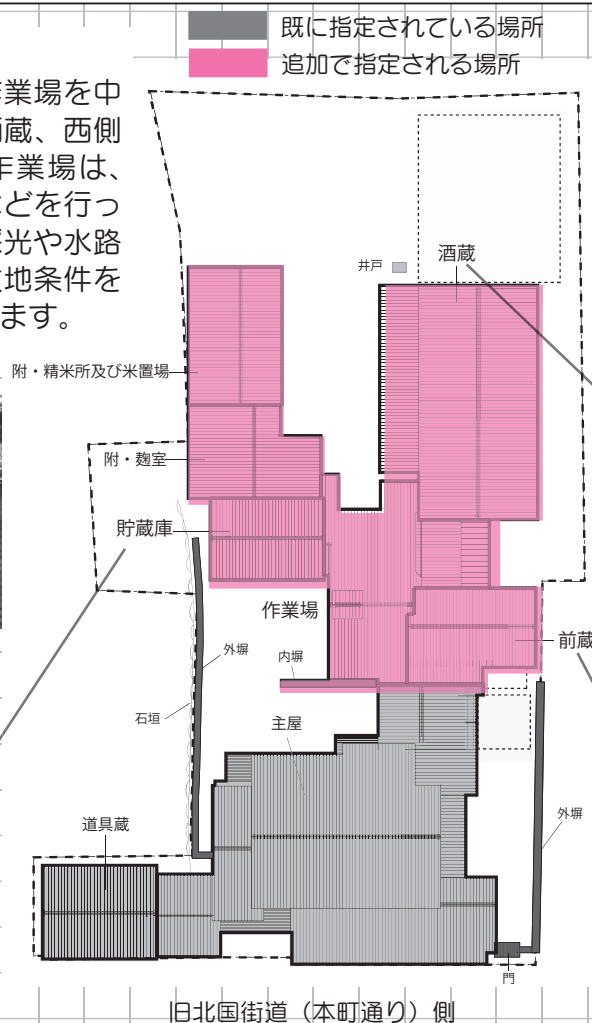
主屋北側に接続し、作業場を中心にその東側に前蔵と酒蔵、西側に貯蔵庫があります。作業場は、酒米の洗浄や瓶詰作業などを行った建物で、中庭からの採光や水路を利用した洗い場など敷地条件を生かした造りとなっています。



酒造施設の全景（北から）



貯蔵庫の外観



酒蔵の外観

酒蔵

明治3年（1870年）に建てられた喜多家最大の蔵で、間口の大きな入り口、^{かいいれさ}櫓入作業（酵母やもろみを大きな棒でかき混ぜる作業）の足場など酒蔵としての特徴を残しています。

前蔵

江戸時代後期に建設された土蔵であり、もろみの発酵に利用されていました。

問 文化課 ☎ 227-6122